

指定管理者制度導入施設 年度評価シート

評価年度	令和5年度
------	-------

1 基本情報

公の施設名	相模原市立診療所（青野原診療所、千木良診療所、藤野診療所）
指定管理者名	日本赤十字社
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間）
施設設置条例	相模原市立診療所条例
施設の設置目的	診療、看護、公衆衛生活動等を行うため
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆市立青野原診療所：相模原市緑区青野原2015番地2 昭和39年2月1日（平成22年4月1日に神奈川県から移管）開設 ◆市立千木良診療所：相模原市緑区千木良852番地8 昭和42年4月1日（平成22年4月1日に神奈川県から移管）開設 ◆市立藤野診療所：相模原市緑区小淵1656番地1 昭和36年7月1日（平成22年4月1日に神奈川県から移管）開設
施設所管課	健康福祉局 保健衛生部 医療政策課

2 管理実績

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者数合計（人）	15,944	12,291	13,376	13,524	15,178		
往診患者延数（人）	269	152	197	188	248		
診療収益（円）	160,046,152	133,917,662	143,319,635	141,659,181	158,890,586		
診療単価（円）	10,038	10,896	10,715	10,475	10,469		

3 成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
S	令和5年度は、令和4年度対比で131.9%と目標を大きく上回っていることからS評価とする。患者の状況や外来診療とのバランスを考慮の上、通院困難者への対応や通院負担の軽減を図るため、引き続き適切に訪問診療を行っていただきたい。

指標1	
指標名（単位）	訪問診療の利用者数（地域住民が必要な医療として需要の増加が見込まれるため）
指標式と指標の説明	3診療所の年間累計（目標値は前年度実績）

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値（単位）	-	-	152.0	197	188		
実績値（単位）	269.0	152.0	197.0	188	248		
達成度（%）	-	-	129.6%	95.4%	131.9%		

4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	市が指定する事業については協定書及び仕様書に基づき、適正に遂行されていることから、A評価とする。

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
地域住民に対する初期医療の提供及び病診連携による地域の医療水準の向上	通年	津久井地域における診療所として、相模原赤十字病院等と連携し、地域医療体制の維持に貢献した。	○
訪問診療の実施による在宅患者の支援	通年	訪問診療を年間を通して実施した。 (延べ往診患者人数：248人)	○
公衆衛生活動等の実施による地域住民の健康増進	通年	健康診断及び予防接種を実施した。 (1診療所あたり月平均14.8日実施)	○

企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
(なし)			

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
(なし)			

5 利用者の満足度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	「また利用したい」という評価の割合は目標の93.5%を上回る98.7%で、達成度は105.6%となったことから、A評価とする。 待ち時間に関する評価は、千木良診療所と藤野診療所においては高評価とはならなかったものの、患者数が増加している中で、昨年度より評価は上がっており、業務改善の様子が伺える。

利用者満足度調査

調査手法/サンプル数	「診療所職員の対応」、「診療待ちから会計までの待ち時間」項目において、利用者を対象にアンケート調査を実施した。 サンプル数：青野原…110、千木良…176、藤野…202 実施時期：令和6年1月9日～令和6年1月27日
目標値の基準	利用者から「また利用したい」との評価を受けている割合の3診療所の平均値が、前年度までの平均値を上回ること

項目 (単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値 (%)	92.4	92.7	92.9	93.2	93.5		
実績値 (%)	95.4	95.4	96.4	98.3	98.7		
達成度 (%)	103.2%	102.9%	103.8%	105.5%	105.6%		

6 施設の経営状況

評価 (S評価)	評価理由・委員会意見
S	市が指定する事業の収支は黒字であり、指定管理者団体本体の経営状況についても特段の問題はないため、S評価とする。全ての診療所で前年度よりも患者数が増加し、収支は令和4年度よりさらに改善している。

施設の収支概要		※直近3年間について記載 (円)		
項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
収入 (a)	223,696,302	206,959,688	224,364,092	
指定管理料	61,945,000	63,078,000	64,706,000	
利用料金収入	143,319,635	141,659,181	158,890,586	
その他の収入	18,431,667	2,222,507	767,506	
支出 (b)	192,193,289	182,150,461	189,168,727	
材料費	35,268,608	30,576,771	33,142,657	
給与費	105,111,604	114,370,294	115,580,069	
委託費	36,468,110	19,678,798	23,676,260	
設備関係費	7,267,458	8,611,027	7,515,902	
その他の支出	8,077,509	8,913,571	9,253,839	
本体事業収支 [(a)-(b)] (c)	31,503,013	24,809,227	35,195,365	
自主事業収入 (d)	0	0	0	
自主事業支出 (e)	0	0	0	
自主事業収支 [(d)-(e)] (f)	0	0	0	
全体収支 [(c)+(f)]	31,503,013	24,809,227	35,195,365	
備考				

団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。
---------	------------------------

7 管理業務の履行状況

検査方法	現地確認、書類提出及び指定管理者へのヒアリング	
実施時期	各診療所、指定管理者：令和6年7月24日実施	
検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	仕様書に定められた業務が適正に実施されていること及び環境配慮への取組みが行われていることを確認した。
危機管理	適正に実施	安全管理・衛生管理・危機管理に関するマニュアルが整備され、緊急連絡体制が確立されていることを確認した。
人員配置・地元活用	適正に実施	事業計画書及び従事者に関する届のとおり人員が配置され、勤務体制や労働条件・環境に問題がないことを確認した。また、地元活用について事業計画及び第三者委託承認申請書のとおり実施されていることを確認した。
現金管理	適正に実施	現金受払簿が整備され、売上（診療報酬）、両替金、手許金等が適切に管理されていること、また売上（診療報酬）が毎日入金されていることを確認した。
会計・経理	適正に実施	通帳の出入金記録及び仕訳伝票にて、指定管理料及び文書料が適正に管理されていることを確認した。
情報セキュリティ	適正に実施	医療情報システム運用管理規程が整備され、従事者への周知（研修）が行われていること、ID及びパスワードが適正に管理されていること、PCにウイルス対策ソフトが有効に設定されていること、外部と通信を行うPCについてはファイアウォールが有効になっていることを確認した。
情報公開・個人情報保護	適正に実施	プライバシーポリシー、情報開示に関する規程、文書管理に関する規程が作成されていることを確認した。また、文書管理に関する規程に基づいて文書が作成されていることを確認した。
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	業務の再委託、備品の調達と廃棄、従事者の変更について報告及び事前承認が行われていることを確認した。
加点事由	具体的内容	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	無
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	
その他取り組んでいること	

9 指定管理者の自己評価

令和5年度の5月から新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ移行した影響もあり昨年度から患者数が1,654人増加した。訪問診療についても60人増加しており、外来診療収益の増加に繋がった。収支状況については患者増による外来診療収益の増加により約1,039万円の増収となった。今後の課題としては新型コロナウイルス感染症の予防接種の減少が考えられるため、保健予防活動収益を減少させないような対策が必要となってくると考えられる。令和6年度はさらなる患者数増加に繋がるように相模原赤十字病院を基軸に近隣医療機関との機能連携及び地域開業医などとの連携を一層強化し紹介患者の増加を図りたい。また、令和3年、4年と同様に現状は指定管理料により黒字となっているが、質の高い医療を目指しつつ経営改善できるよう努めたい。

10 所管課意見

全ての診療所で患者数が前年度を上回り、診療報酬の増加により前年度よりもさらに良好な収支となったことはことは評価する。最も患者数が多かった藤野診療所では、診療所内で糖尿病相談会を開催し、また、予防医療・健康活動に関する資料を掲示するなど、診療以外の部分においても積極的な取り組みが行われている様子が伺え、このことが患者の獲得・定着に繋がっていると思われる。青野原診療所、千木良診療所においても、予防医療や健康活動に関する取り組みを積極的に行っていただきたい。

昨年度指摘事項となった、マニュアル類の更新については対応されていたものの、災害用備蓄品については対応が完了していなかった。また、更新書類の誤廃棄や設備の点検漏れなどがあったため、週・月・年単位での業務スケジュールとフローを改めて確認し、確実な管理運営に努めていただきたい。

11 選考委員会意見

・新型コロナウイルス感染症の5類変更による影響もあると考えるが、前年度と比較して利用者数が約3割増加し、経営状況も改善していること、また、利用者満足度について、3診療所ともに「また利用したい」が98%を超えていること等、従事者の皆様の努力を高く評価する。引き続き、訪問診療等を含む診療の充実や生活習慣病予防の取組等を進めていただくことを期待する。

・前回、「医師会へ積極的に参加していただき、医師会を通じての地域医療への貢献も検討してほしい。病診連携、診診連携のうえで、お互いの顔の見える関係の構築に努力してほしい。」と要望をお願いしたところ、相模原市立診療所の医師に医師会会議や懇親会に参加していただけた。今後も積極的に参加いただき、他の診療所のまだ参加されていない先生にもぜひ参加をお願いしたい。

・令和5年度は新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着き、令和4年度と比較して収支状況の黒字幅が増加している。安定して事業収支の黒字が続いており、評価できると考える。利用者の満足度で待ち時間に関する評価が高評価とならなかった診療所が見受けられるが、令和4年度より評価は上がっているとのことであるので、今後のさらなる改善に期待したい。

・過疎と高齢化が進む地域での診療数の増加への取り組みを高く評価する。引き続き、地域に根づいた医療にご尽力されることを期待する。

総合評価（自動判定）

S

(85/100)

